

令和6年 労働災害発生状況（令和7年3月末現在）

（休業4日以上 の 死傷者数）

古河労働基準監督署

業種別

業種	年	6年		5年		同期比	
		死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業
製造業	食料品		28		33		-5
	木材・木製品		1		1		
	化学工業		16		8		8
	金属製品		11		16		-5
	一般・電気・輸送用機械		10		19		-9
	その他		33		25		8
	小計		99		102		-3
建設業	土木工事		2	1	4	-1	-2
	建築工事（木造除く）		14	1	13	-1	1
	木造建築工事		1		1		
	その他の工事		2		5		-3
	小計		19	2	23	-2	-4
陸上貨物運送事業		1	58	1	55		3
畜産業							
小売業			23		22		1
社会福祉施設			11		16		-5
その他			45		40		5
計		1	255	3	258	-2	-3

熱中症特別警報 昨年、管内で2名死亡

※2名とも他地域からの出張作業

令和6年は、「地球沸騰化」とも表現された深刻な猛暑により、古河労働基準監督署管内で2人もの尊い人命が熱中症により失われました。

「手足がつかない」「立ちくらみ・めまい」「吐き気」「汗がとまらない」といったことがあれば、熱中症の可能性がります。また、「イライラしている」「ボーッとしている」など、他人から見てわかる症状もります。熱中症が疑われる場合は、直ちに作業を中止して、119番通報をお願いします。

熱中症予防ガイド
（安全衛生教育にもご活用ください）



月別

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
6年					(1)								(1)	255
	22	31	17	20	20	20	32	13	14	22	18	26		

年齢別

	件数	率(%)
～19歳	5	2.0%
20～29歳	33	12.9%
30～39歳	29	11.4%
40～49歳	(1) 51	20.0%
50～59歳	79	31.0%
60歳～	58	22.7%

規模別

事故の型別

業種	規模	事故の型別													合計
		規模 9人	四 九〇 人	一 九〇 人	九 五〇 人	一 〇〇 人	転 落・ 墜 落	転 倒	激 突 さ れ	巻 挟 ま れ ・ 捲 込 ま れ	こ 切 す れ	交 通 事 故	動 作 の 反 動	そ の 他	
製造業	食料品	1	8	4	15		4	7	1	3	2		5	6	28
	木材・木製品	1					1								1
	化学工業	2	4	2	8		2	6		4			3	1	16
	金属製品	1	8	2				1	1	6			2	1	11
	一般・電気・輸送用機械	2	1	1	6		1			2	1		4	2	10
	その他	8	18	4	3		2	4	1	12	4	1	4	5	33
	小計	15	39	13	32		10	18	3	27	7	1	18	15	99
建設業	土木工事	1	1									1			2
	建築工事（木造除く）	10	4				6			1				3	14
	木造建築工事	1					1								1
	その他の工事	1			1					1				1	2
	小計	13	5		1		7			4			1	4	19
陸上貨物運送事業	7	26	10	15		18	10	1	6	2	(1)	4	5	(1) 58	
畜産業															
小売業	5	13	1	4		2	12	1	1		2	3	2	23	
社会福祉施設		2	4	5			7		1			1	2	11	
その他	10	19	8	8		6	18		5	3	2	2	9	45	
計	50	104	36	65		43	65	8	44	12	(1)	9	30	(1) 255	

※ 数値は、労働者死傷病報告より集計したものであり、()内は死亡者で内数である。

※ 陸上貨物運送事業は「道路貨物運送業」、「陸上貨物取扱業」を合わせたものをいいます。

※ 新型コロナウイルス感染症へのり患によるものを除く